

令和5年10月24日

課題解決型実践事業

「身体表現的手法を用いた友達作りワークショップ（飯山北小学校3年生）」

業務委託

報告書

友達作りワークショップ

実施日 : 令和5年10月3日 (火)

講師 : yummydance (ヤミーダンス) のメンバー 4 名

場所 : 丸亀市立飯山北小学校 体育館

対象 : 丸亀市立飯山北小学校

3年1組、2組、3組の児童68名

実施日	スケジュール	クラス
10月3日 (火)	2時間目 9 : 30~10 : 15	1組
	3時間目 10 : 35~11 : 20	3組
	4時間目 11 : 30~12 : 15	2組

アンケート結果

回答者 : 丸亀市立飯山北小学校教員 3名

学級担任2名

特別支援学級担任1名

ワークショップの感想を5段階で評価

全くそう 思わない	←	どちらでも ない	→	とても そう思う
1	2	3	4	5

		4か5で評価 した割合	7名の 平均点
1	普段より積極的に参加していた児童が多かった	100%	5
2	新しい一面がうかがえた児童がいた	66.7%	4
3	普段より自己表現していた児童がいた	100%	4.67
4	普段は消極的な児童が楽しそうにしていた	100%	4.67
5	普段は一緒にいない児童同士の交流が見られた	66.7%	4
6	自分自身にも新しい気づきがあった	66.7%	4
7	授業に取り入れられそうな要素があった	100%	4.67
8	ワークショップ後、児童の様子に変化があった	33.3%	3.67
9	今後も舞台芸術のプロによるワークショップを取り入れたい	100%	4.67

アンケートの自由記述欄の回答

活動中は、普段とあまり大きな違いは感じていなかったのですが、活動後の子ども達の様子を見ていると、互いの距離が近くなったように思います。

自分の個性を堂々と発揮したり、互いの個性を認め合う姿を、今まで以上に感じました。

楽しい雰囲気楽しい動きを教えていただけて、子ども達と一緒に楽しむことができました。

(学級担任として) 子ども達の動かし方も勉強になりました。

子ども達が笑顔で終始楽しく活動しており、ぜひ機会があればまた来ていただきたいです。

ワークショップ写真

「見たことがない形」を友だちと協力してつくる



自分では動かない「ねんどマン」の体を、自由に変えて 面白いポーズをつくる



2人組で自由なポーズを交代でつくっていく 発表の時間を設けることで、友だちの表現の面白さに気づく



所感

「ねんどマン」では、代表者一人が、自分では動けない粘土役になり、その他の児童が一人ずつ順番に粘土役の児童の体の一部を動かすことで、面白いポーズをつくった。その応用として、2人組になり、止まっている相手の体の一部を動かしてポーズを変えると、今度はその体勢のまま自分も固まり、反対に相手に体を動かされることで、また違うポーズが作られていくというワークも行った。

一般的なダンス教室などでのレッスンでは、先生1人が手本となり、それを見ながら大勢の生徒が同じ動きを真似して動きを覚えていく。ここでは、やる気のある子は意欲的に取り組むが、積極的でない生徒がいてもレッスンはどんどん進んでいく。一方で今回のプログラムでは、2人組や10人組の少人数のグループとなり、自分が相手を動かすことで初めてワークが進んでいくため、主体的に参加しているという実感が湧きやすい。また、面白いポーズをつくり、周りの皆が拍手して鑑賞することで、自分や友達の自由な表現を受け入れる場をつくることができた。

授業の最後に子ども達から「新しい遊びが知れてよかった」という感想を聞くことができた。体を使って表現することの楽しさや、体験したことを身につけ「遊び」として活かしていきたいと感じてくれていることがわかった。